



# 日本聖公会東京教区 聖アンデレ教会

主教 フランシスコ・ザビエル 高橋宏幸

牧師 司祭 ステパノ 卓志雄 主日勤務 執事 クララ 佐久間恵子

〒105-0011 東京都港区芝公園 3-6-18

電話 03-3431-2822 FAX 03-3434-5698 電話礼拝 03-3431-0250

E-mail:st-andrew.tko@nssk.org HP:www.st-andrew-tokyo.com

## 大齋節第3主日(紫) 2025年3月23日

### 礼拝案内

† 午前 7 時 30 分 聖餐式  
 (午前 7 時 25 分 礼拝奉仕者の祈りの集い)  
 司式: 司祭 卓志雄  
 説教: 執事 佐久間恵子  
 聖歌 123 131 372

† 午前 9 時 15 分  
 こどもとともにささげる礼拝  
 司式・お話: 執事 佐久間恵子  
 聖歌 123 131 372

† 午前 10 時 30 分 聖餐式  
 (午前 10 時 10 分 礼拝奉仕者の祈りの集い)  
 司式: 司祭 卓志雄

### 入堂聖歌 123

参入 1 頁 (162 頁)  
 清めの祈り 1 頁 (162 頁)  
 キリエ 3 頁 (163 頁)  
 特祷 (大齋節第 3 日)

旧約聖書 イザヤ書 55 章 1-9 節  
 詩編 第 63 編 1-8 節  
 使徒書 コリントの信徒への手紙 一  
 10 章 1-13 節

### 福音書前聖歌 568

福音書 ルカによる福音書 13 章 1-9 節  
 説教: 執事 佐久間恵子  
 ニケヤ信経 9 頁 (166 頁)  
 代祷 (週報 2 面) 12 頁 (168 頁)  
 懺悔 13 頁 (170 頁)

### 聖餐

平和の挨拶 15 頁 (171 頁)  
 奉献聖歌 131  
 奉献 15 頁 (172 頁)  
 感謝聖別 16 頁 (173 頁)  
 陪餐 24 頁 (180 頁)  
 陪餐聖歌 257  
 感謝 28 頁 (182 頁)  
 祝福 28 頁 (183 頁)  
 派遣  
 退堂聖歌 372

† 午後 5 時 夕の礼拝  
 司式: 執事 佐久間恵子 聖歌 481  
 詩 34 創 44:1-17 マコ 5:1-20

### 礼拝参加にあたって

※礼拝は教会ホームページより動画で配信されています。  
 (映像に映りたくない方は、その旨お伝えください。)  
 ※手洗い場や消毒液をご活用ください。マスクの着用をおすすめしますが、状況・体調等に応じて各自ご判断ください。  
 ※聖卓のろうそくの点灯中、礼拝前後(10分程度)は黙想の時間です。聖堂内で静粛に、会話や挨拶もお控えください。  
 ※礼拝中の席の移動はお控えください。平和の挨拶もそれぞれの席からいたします。  
 ※献金・信施は、礼拝中にまわってくる献金袋に、または受付台付近の献金箱におささげください。  
 ※聖餐式での陪餐の際、案内に従って中央通路を左右 2 列で聖卓に進みます。洗礼を受け、陪餐の許しのある方は、口または手のひらで分餐奉仕者からパン、またはぶどう酒に浸したパンを受けます。また祝福を希望される方も同様に進みます。  
 ※聖公会以外の教会で洗礼を受けて、聖餐に与っている方の陪餐(聖体拝領)を許可し歓迎します。  
 ※陪餐後は、席に最も近い通路部分を通して席に戻ります。  
 ※聖堂内での移動が難しい方、配信に映りたくない方は、分餐奉仕者がお席あるいは聖堂後方まで参りますので、遠慮なくお知らせください。  
 ※体調や気分の不調のとき、また何かわからないことなどありましたら、遠慮なく受付案内の係までお声をおかけください。

## 本日の代祷 <敬称略>

一同着席する。

執事は次のように言う。司祭または会衆の代表者が言ってもよい。

執事 救い主イエス・キリストのみ言葉とみ業に頼り、全公会のため、また世界のために祈りましょう

※（ ）内は音読しなくてもよい。

<わたしたち教会 - 全公会のため>

代祷者 神よ、主の公会、ことに

[聖アンデレ教会 (ステパノ 卓志雄司祭、クララ 佐久間恵子執事、トマス 日高馨輔執事)]

わたしたち教会の宣教・奉仕の働き、

教会に関わる諸団体

[東京教区(フランシスコ・ザビエル高橋宏幸主教)]

聖マーガレット教会、

立教女学院(聖マーガレット礼拝堂、聖マリア礼拝堂、小学校、中学校、高校)

[東日本宣教協働区(北海道・東北・北関東・東京教区)]

東松山聖ルカ教会聖堂聖別記念日3月26日

[日本聖公会(首座主教 ダビデ 上原榮正 主教)]

大阪教区のすべての働き

[アメリカ聖公会メリーランド教区

(ユージン・テラー・サットン主教)]

ボルチモア 聖三一教会

ケイトンズヒル 聖テモテ教会

[エルサレムおよび中東聖公会

(ホサム・ナウム大主教)]

アンマン 聖贖主教会

サルト 良き羊飼いの教会

[全世界の聖公会]

中央アメリカ聖公会

[日本キリスト教協議会(NCC)の働き]

日本ハリストス正教会

を強めて、み子のみ業を行わせてください。

すべての聖職と信徒、ことに私たちの主教

フランシスコ・ザビエルを導き、み名を呼ぶ

者を主の真理と愛のうちに一致させ日々主の

栄光をこの世に現す者とならせてください

会衆 主よ、お聞きください

<平和と正義の実現のため>

代祷者 神よ、すべての国の人びと、ことに中東やウクライナなどの戦争・紛争の終結、世界の平和と和解の実現のため、日本国と世界各国・地域の

人びと、ことにそれらの指導的立場の人びと

に知恵を与えて正義と平和の道に導いてください

互いに尊敬する心を与え、ともにすべての人の幸いを求めさせてください

会衆 主よ、お聞きください

<隣り人のため>

代祷者 神よ、わたしたちと家族、すべての友人と隣り人、ことに、

日々を共に暮らし、また離れて暮らすそれぞれの家族、友人、同僚、心にかけている人びと、

聖アンデレ教会に連なるすべての人びと、

入信を希望している人々、洗礼、堅信、初陪餐、

結婚の準備をしている人びと、さまざまな理由によって教会から離れている人々、この地域で生活し、働いている人びと、生命(いのち)の問題、困難な人びとを支える働きに関わる人びと(浅草聖ヨハネ教会日曜給食活動、聖公会野宿者支援活動・渋谷)、

3月の代祷・信施奉獻先となっている働き・団体、ことに東京教区神学生(教区会決議)、いのちの電話(いのちの電話、東京多摩いのちの電話、東京英語いのちの電話)、聖公会東京311ボランティアチーム(聖公会東京311ボランティアチーム)、ぶどうのいえ(守口ぶどうのいえ、ぶどうのいえ福岡、京都ぶどうのいえ)

に恵みを与え、ともに主を知り、主に仕え、互いに愛することができるようにしてください

会衆 主よ、お聞きください

<困難な状況にある人のため>

代祷者 神よ、悩む人、悲しむ人、病気の人の、貧しい人、その他災いの中にある人びと、ことに

感染症の収束のため

[病床にある人・自宅療養中の人・別紙参照]、

北陸の震災の被災者、世界各地の自然災害の被災者

害のため困難な状況にある人びと、  
住む場所を追われた人びと、  
自由を奪われ拘束されている人びと、  
戦争や暴力、犯罪や差別に苦しむ人びと  
を顧み、み力を与えて、勇気と希望を増し加え、  
主の救いの喜びに導いてください  
会衆 主よ、お聞きください

<逝去者のため>

代祷者 神よ、世を去ったすべての人、ことに  
それぞれが覚える逝去者  
[今週逝去の記念日を迎える人(=別紙参照)]  
暴力や犯罪、災害の犠牲となった人  
を顧み、彼らの上に主の愛のみ旨を成し遂げてくだ  
さい。わたしたちは、世々に主の証人たちに与えら  
れた主の恵みのゆえに、み名をたたえます。どうか、  
わたしたちも、彼らとの交わりを保ち、ともにみ國  
の栄光にあずからせてください  
一同 主よ、これらのことをみ子イエス・キリスト  
によってお願いいたします アーメン

\*\*\*\*\*

- ◇ 聖堂の様子は動画配信されています。聖アンデレ教会ホームページの「礼拝ライブ配信」をクリックすると見ることができます。また主日・週日の礼拝は、上の動画配信の他、礼拝電話(03-3431-0250)で音声を聴くことができます。
- ◇ 聖アンデレ教会広報チャンネルでは、様々な情報を配信中です。  
**聖アンデレ教会広報チャンネル**で検索
- ◇ 聖アンデレ教会フェイスブックページから折々の教会の様子やお知らせをお伝えしています。  
フェイスブックで **聖アンデレ教会**で検索

<お知らせ>

- ◇ 本日の大斎プログラム(礼拝後、聖堂にて)  
「今こそ聴こうー礼拝について①」  
卓司祭の説明の後、礼拝に関する疑問などのアンケートを行います。  
どうぞご参加ください。  
次主日は、卓志雄司祭による  
「聖餐式における役割の再確認」です。  
ご予約ください。
- ◇ 大斎節の礼拝・行事について、ご案内リーフレットをどうぞご覧ください。
- ◇ 東京教区から「2025年み言葉と歩む大斎節」が発行されました。東京教区のHPでご覧いただけますが、教会の入り口にも置いてありますので必要な方はお取りください。  
毎日み言葉を分かち合いましょう。
- ◇ 聖アンデレ教会 教会報「さかえ」385号を発行しました！どうぞお読みください。
- ◇ 聖アンデレ教会のピンバッジができました。感謝献金として1つ¥500以上お願いいたします。
- ◇ 葬儀のしおりとエンディングノートを配布しています。ご希望の方はお取りください。
- ◇ ご家族・少人数での記念式や礼拝参加、牧会訪問、自宅や病床での陪餐を希望される方は教会までご連絡ください。
- ◇ 聖堂の扉は、日中(朝7時頃から夕方5時頃・礼拝時間を除く)開いています。個人の祈りや黙想が可能です。

毎主日 10時半の聖餐式での

「聖書朗読(旧約聖書、使徒書)」を信徒の皆さんで分担しませんか ――

み言葉を皆さんの前で声を出して読むことは、素晴らしい恵みです。ご自分の受洗や堅信の記念日、結婚記念日、誕生日、ご家族の逝去記念日などを迎える主日に是非ご奉仕くださいますようお願いいたします。ご希望の方は、聖堂受付付近の表にお名前をご記入ください。よろしくお願いたします。

## 本日・今週の予定

3月23日(日) 大斎節第3主日

7時半 聖餐式  
9時15分 こどもとともにささげる礼拝  
10時半 聖餐式  
17時 夕の礼拝

・礼拝後 大斎プログラム  
「今こそ聴こう—礼拝について①」卓志雄司祭  
・愛餐会 ・14時半 城南G教会協議会(真光教会)

24日(月) 7時半礼拝

王下 5:1-15 詩 42:1-2,43:1-4 ルカ 4:24-30

卓司祭在室(終日)

25日(火) 聖マリアへのみ告げの日 7時半礼拝

イザ 7:10-14 詩 40:5-10 または 40:1-11 または  
マリアの賛歌 ヘブ 10:5-10 ルカ 1:26-38

・10時 英会話クラス

26日(水)

申 4:1,5-9 詩 147:12-20 マタ 5:17-19

27日(木) 7時半礼拝

エレ 7:23-28 詩 95:1-2,6-11 ルカ 11:14-23

28日(金) 7時半礼拝

ホセ 14:1-10 詩 81:6-10,13,16 マコ 12:28-34

卓司祭在室(午前)

29日(土) 7時半礼拝

ホセ 5:15-6:6 詩 51:1-2,16-19 ルカ 18:9-14

・10時 洗礼講座  
・15時 埋葬式(青山墓地)

30日(日) 大斎節第4主日

7時半 聖餐式・洗礼式  
9時15分 こどもとともにささげる礼拝  
10時半 聖餐式 聖歌 15,539,274,331,244,474  
ヨシュ 5:9-12 詩 32 II コリ 5:16-21  
ルカ 15:1-3,11b-32  
17時 夕の礼拝  
詩 19,46 創 48:8-22 マコ 8:11-21  
聖歌 452

・礼拝後 大斎プログラム  
「聖餐式における役割の再確認」

### 今週のメッセージ

私たちは今年も大斎節を過ごしています。大斎始日の礼拝の冒頭では私たちに、この大斎節をとおして「内なる生活を顧みて悔い改め」「祈りに励み、自己本位な生き方から解かれて愛のわざを行い、み言葉を味わうこと、黙想すること」が「勧め」られています。

今日の福音書では、前半部分で私たちは「悔い改めなければ、滅びにいたる」という神からの強い警告を受けます。この警告をイエス様から引き出した当時の大きな社会的影響をもたらしたとされる出来事には、必ずしも歴史上の明確性はありません。その出来事とはガリラヤからの巡礼者の数人がエルサレム神殿の中でローマ兵に殺害され、彼らが献げようとしていたいけにえの動物の血と犠牲者たちの血が混じった、という出来事をさしているのではないかと、言われています。事実がどうであったかは置くとしても、このように熱心に神殿で神に献げものをしようとするユダヤ人と、支配者であるローマ帝国の派遣兵のあいだでの小競り合いや暴力を伴う圧迫などが繰り返して起きていたということは想像に難くありません。また、シロアムという場所で塔が倒れて犠牲者が出た、という痛ましい事故は、イエス様のおっしゃるとおり「不慮の事故」であって、そこで命を落とした者たちがとりわけ罪深かった、などと言うことは出来ないのです。しかし、もし人びとがまことの神に従わず、神に背くような行いを続けるなら、とイエス様は警告なさるのです。

一転、後半は待っても待っても実をつけないいちじくの木のとえを用い、イエス様は、このいちじくの木を裁こうとする園の主人・神と、そのとりなしをする園丁・イエスご自身のやりとりをとおして私たちに「とりなし主・イエス」の存在の重要性を教えて下さっています。

いつもよりも意識的に自身の信仰と向き合い、自分の心と向かい合うことを促されているこの大斎節の期間、私たちは聖書をおして語られるイエス様のお言葉に聴き従い、深く悔い改めるとともに、しかし、いつどんな時や場合でも私たちを決して見捨てることなく、神に執り成しを願って下さるイエス様の存在をいつも以上に心に刻み、感謝のうちに神との正しい関係、神のみもとに立ち帰ることに専心することを求められているのではないのでしょうか。(執事 佐久間恵子)